

Q：松江高専で学ぶ学習内容は？

A：松江高専は「学んで創れるエンジニア」という教育目標のもと、中学卒業後5年間でエンジニアになるための勉強をする学校です。高専では高等学校と同じ年齢である1年生から専門科目が設定されており、上級生になるにつれて一般科目に比べて専門科目が徐々に増えていくカリキュラムとなっています。また、各学科では次のような教育目的を設定しており、これらの能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定しています。詳しくは「[本校の教育](#)」を参照して下さい。

○機械工学科

機械工学分野の理論、知識および技術を身につけ、”ものづくり”の中核分野に貢献できる実践的な技術者の育成を目的とする。

○電気情報工学科

電気情報工学分野の理論、知識および技術を身につけ、エネルギー・エレクトロニクス・コンピュータ分野に貢献できる実践的な技術者の育成を目的とする。

○電子制御工学科

電子制御工学分野の理論、知識および技術を身につけ、メカトロニクスやシステム制御などの幅広い分野に貢献できる実践的な技術者の育成を目的とする。

○情報工学科

情報工学分野の理論、知識および技術を身につけ、情報化社会の発展に貢献できる実践的な技術者の育成を目的とする。

○環境・建設工学科

環境・建設工学分野の理論、知識および技術を身につけ、様々な社会基盤整備分野に貢献できる実践的な技術者の育成を目的とする。

Q：松江高専に編入学するための出願資格は何ですか？

A：本校の編入学試験に出願できる者は次の①～③のいずれかに該当し、かつ出願時点で実用数学技能検定2級合格以上及び実用英語技能検定準2級一次試験合格以上の成績を有する者としてします。なお、高等学校等を卒業した学科及び在籍学科は問いません。

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び受験年度3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び受験年度3月修了見込みの者
- ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則

第 150 条に該当する者) で、編入学時において 18 歳に達している者

特に、出願時に実用数学技能検定及び実用英語技能検定の資格試験の成績が必要となりますので、本校への編入学を希望する皆さんは計画的に準備を行って下さい。

出願資格の詳細は編入学生募集要項に記載しています。また、本校ホームページでもその募集要項を随時公開していますので、そちらを参照して下さい。

Q: 入学試験の合格者はどのような状況でしょうか？また、編入学の可否はどのような基準で判定されますか？

A: 近年、松江高専での編入学試験では合格者が出にくい状況です。この理由は、編入学学力試験に対する準備不足（学力不足）が主な原因です。編入学を希望する学生の皆さんは、準備を入念に行ってください。

可否判定は、実用数学技能検定の成績、実用英語技能検定の成績、編入学学力試験成績（口頭試問。専門科目あるいは物理のいずれかを選択。）及び面接を総合的に判断することによって行います。

編入学学力試験についてももう少し詳しく書くと、「松江高専の4年生に編入学後の授業についていけるか」という視点で編入学試験問題を作成し、合格基準を設定しています。別の言い方をすると、「編入学後の本校の授業科目で合格となる基礎力があるかどうか」というレベルが判断基準だと考えて下さい。

なお、本校の編入学試験に合格した場合でも、普段から勉強する習慣が身につけていないと授業についていけません。合格者であっても、編入学後の本校での学習に備えて、数学、物理、英語、専門科目等の研鑽を怠らないで下さい。